

5月28日の本部定例供養会でございます。

ネットを通して信者さんに触れ合えることができる事を大変嬉しく思います。

先日、5月25日は女先生の九回忌でしたので、姉と聖地の御廟所に参拝をさせていただきました。

女先生はあまり公の場には出てこれなかったのですが、会主さま、大導師さまのご修行を陰で支えられていました。

どんなに忙しくてもお二人より早く起きて準備をされ、愚痴を言わず、いつも笑顔でお優しい方でした。

厳しいだけが修行ではなく、優しさも必要だという事を改めて感じました。そういう意味での女先生の陰の修行、妙智会にとって大きな存在でありました。

今でも女先生はお二人に仕えながらも、皆さんの事を優しい心で温かい光で包んでくださっています。

今、オリンピックやワクチンのことが盛んに報道されています。インターネットやテレビなどで様々な情報を簡単に得ることができ一方で、私たちは誰かの一言で一喜一憂しがちです。

人間にはそういう性質があることを認識することが大切です。

目先のことで色々な思いを巡らせてしまうのは、善いことではありません。目先のことですから、変わってしまうのです。

人の気持ちは日々変化してしまうもので、これをお釈迦さまは諸行無常とおっしゃったのです。

その、人間のもっている業、性を承知しながら、色々な物事を見ていかなければならないと思います。